

美柔が丘

校訓『創造敬愛』

下川町立下川中学校
令和7年度学校だより
第9号 R7.12.23発行

冬休みを迎えるにあたって

校長 越 湖 憲 治

過日実施しました学校評価の生徒アンケートに、「学校生活は楽しいと感じますか?」という問い合わせがありました。この問い合わせに肯定的な回答をした生徒は残念ながら86%で中間評価よりも3ポイント下がっていました。当然、校長としては100%であってほしいという願いがあるものの、「楽しい」とはそれぞれで捉え方が違っているのではないかとも思っています。それは、中間評価で69%であった3年生が82%へと大きく上がっていたからです。3年生は、この時期になると大きな学校行事や部活動も終え、進学に向けてテスト、テストの毎日で、成績等で悩む時期だと思っています。一方で、大きく成長する時期だと思っています。

ある文献を読んでいると“『楽しさ』とは、一般的には、何かをすることや見ることや聞くことなどによって、心が満たされたり、喜んだり、興奮したりする感情のこと”と表現していました。

ですので、楽しさは当然、人それぞれに違うものであり、個人差や状況差があるということです。例えば、同じように学校祭に参加しても感じ方は違いますし、同じ授業やテストを受けていても楽しいと感じることができるということです。3年生は、他の項目でも肯定的回答が次のように変化しています。

- 仲間と共に学ぶ中で、自分の考え方や行動が変化していると感じるか(中間69%→期末96%)
- 授業はわかりやすいか(中間84%→期末91%)
- 授業で発表するときに、自分の考えがわかりやすく伝わるように工夫しているか(中間84%→期末96%)
- 授業で自分の学びや気づきなどを振り返ることができているか(中間69%→期末82%)
- 課題に対してどうすればよいか自分なりに考えるようになっているか(中間93%→期末95%)

上記から推測すると、それだけ様々な取組に対する自分の行いに満足感を得ているということだと考えます。しかしながら、学年によって、また個人によってはそうならないことも不思議ではないのです。中学校生活にもある程度慣れ、落ち着いてきた反面、新鮮さを見失い、当たり前の感情が強くなり、本当は新しく未知のものなのに、それは捉えられずに興味や探究心が薄れ、夢中になれないこともあると思っています。

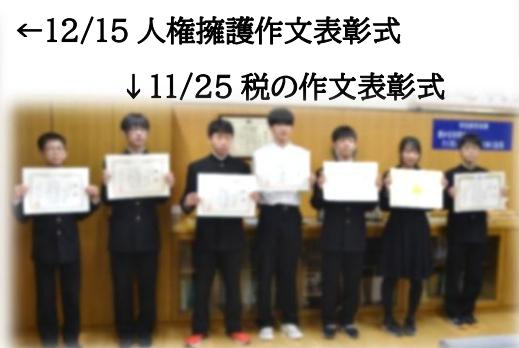
子どもたちは、日々成長しています。だからこそ、「楽しい」の感情も変化するのだと思い、単に数値だけにとらわれるのではなく、そこから読み取れるものは何かを考えたいと思っています。それが、子どもたちの成長を願い、83日間という長い2学期間を奮闘してきた多くの方々の姿への感謝だからです。2学期が終わりました。子どもたちも関わってくれた方々に感謝の気持ちをもって冬休みに入ることを願って…。

■受賞おめでとうございます

○名寄人権擁護委員協議会優良賞 黒川 愛美



←12/15 人権擁護作文表彰式



↓11/25 税の作文表彰式



↑11/28「税を考える週間」
絵画展表彰式

深い学びの実現を図る総合的な学習の時間

■まちづくり学習全体発表会 in 公民館大ホール

11月25日(火)、3年生はこれまでの学びの集大成として、地域課題や未来のまちづくりについて調べ、考えたことを発表しました。生徒たちは、地域の魅力や課題を自分たちの視点で捉え、持続可能な社会を実現するためのアイデアを提案しました。発表では、スライドや資料の工夫、わかりやすい言葉選びなど、聞き手に伝えられるよう意識した姿が見られました。

この学習を進めるにあたり、生徒たちは、地域の専門家の方々から多くのアドバイスをいただきながら学びを深めてきました。森林資源や観光、福祉など、さまざまな分野の知識をもつ方々との対話を通して、現実的な視点や新しい発想を得ることができました。こうした地域とのつながりが、生徒たちの主体的な学びを大きく支えています。

さらに、発表会当日は、田村泰司町長、我孫子洋昌町議会議長、古屋宏彦教育長に来賓としてご臨席いただき、代表して発表した6チームに対して、それぞれ講評をいただきました。地域のリーダーから直接意見や励ましの言葉をいただいたことで、生徒たちは自分たちの考えが社会とつながることを実感することができました。

また、当日は保護者や地域の方々に加えて下川小学校の6年生など80名以上の来場者にお越しいただきました。多くの方々に見守られながら発表できたことは、生徒たちにとって忘れられない経験となりました。

この取組を通して、学校は生徒たちに「地域に关心をもち、主体的に考え、行動する力」を育んでいます。今後も、地域とともに学び、よりよい社会を築くための実践を続けていきます。

【生徒たちの探究テーマ一覧】※当日、すべての探究成果を冊子として皆様に配布しました。

	探究テーマ	生徒氏名
1	増え続けるクマと下川町ができる対策とは？	中村 山太
2	五味温泉の魅力を最大限に伝える！	上ヶ島 寧彩、前川 乃杏
3	光のアートは森から生まれる	清水 陽
4	廃棄される食べ物の有効活用	勝元 立衛、津志田 紗、小西 琉椰
5	農家の後継者を増やす	小澤 虹翔、菅野 陽翔
6	アイスキヤンドルミュージアムのさらなる強化	武石 桃佳、畠山 果愛奈
7	スポーツランド in 総合グラウンド	佐藤 大翔
8	ライブで地域活性！	遠藤 陸
9	観光スポットを通して観光客を増やす	渡辺 心桜
10	学生の集まる場を作る	山中 琉翔
11	冬の間の運動について	板橋 太一
12	SNSを活用して下川町の特産物を広める	松田 大聖
13	子供と高齢者がつながれる場を作る	板垣 魅桜、島田 愛梨
14	若者が暮らす町へ～ウチらの love Town～	佐久間 芽衣、立花 日茉梨
15	人の流れと経済の停滞を防ぐ	河野 遥斗

当日、発表した代表6チーム



深い学びの実現を図る総合的な学習の時間

■1年キャリア学習

12月2日(火)、中学1年生の総合的な学習の時間では、「将来について考えを深める」ことを目的に、町内で活躍するゲストをお招きし、それぞれの職業観や人生観について語っていただきました。

今回のねらいは、ゲストのお話を聞きながら、自分の将来像と重ね合わせ、進路や生き方について考える機会とすることです。

前半50分は学年全体に向けて、3名のゲストにそれぞれ15分ずつお話しいただきました。ゲストは、

- ・田邊 真理恵さん(株式会社フプの森 代表取締役)
- ・菅沼 亮輔さん(一般財団法人しまかわ地域振興機構)
- ・矢内 啓太さん(株式会社 Grate Inc)



後半50分は、対話形式での「質問＆深めタイム」。生徒たちは直接質問を投げかけ、3名のゲストからそれぞれの経験や思いを聞きながら、「働くときに大切なこと」「過去から現在、そして未来へ」「人や社会、地域とのつながり」という3つの視点で学びを深めました。

最初は少し緊張した雰囲気でしたが、対話が進むにつれて笑顔が広がり、会場は温かい空気に包まれました。

生徒たちは、ゲストの経験や考え方につれて、働くことの意味や地域で生きることの価値を実感し、自分の将来について考えを深める貴重な時間となりました。



■第3回授業参観日

12月10日(水)5時間目、右記の表の通りの授業を公開し、多くの皆様に生徒たちの学びの様子をご参観いただきました。

学級	1年			2年			3年	
	A組	ちゃれんじ	すまいる	A組	すまいる	ちゃれんじ	A組	すまいる
授業者 (教科)	大西・鈴木靖 (数学)	前鼻 (作業)	田村 (数学)	佐藤 (美術)	毛利 (美術)	鈴木瑠 (美術)	谷口 (国語)	飯原 (自立)
授業会場	1A 教室	ちゃれんじ教室	1A 教室		美術室		3A 教室	すまいる教室

【1年生】体育館にて学年レクリエーションや茶話会を実施し、親子で楽しい時間を過ごしました。



↑1年生の学年レク 茶話会の様子↓

【2年生】保護者懇談では、これまでの生徒の様子や冬休みの過ごし方、2学期の評価・評定等について説明しました。



【3年生】2学期を振り返り、生徒たちの様子や「まちづくり学習」の取組、進路に関わる今後の日程等についてお話ししました。

天候が不安定な中、足を運んでくださった皆様に心より感謝申し上げます。
今後とも、生徒たちの成長を温かく見守っていただければ幸いです。



←2年生美術の様子



3年生国語の様子→



■赤い羽根共同募金

11月17日(月)から21日(金)までの5日間、生徒会書記局が毎朝8時から1階ホールにて赤い羽根募金を呼びかけました。皆さまの温かいご協力により、4,234円の募金が集まり、12月9日(火)に社会福祉協議会へ届けました。この取組の様子は、名寄新聞の取材も受け、地域の皆さんに紹介されました。ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。



■下川観光大使プロジェクト

3年生が美術科デザイン分野の授業で、下川町の名産「うどん」のパッケージを制作しました。8月から10月にかけて取り組み、「3年間の学びを生かし、自分にしかできない表現」を目標に、地域の魅力をどう伝えるか考えました。下川手延組合賞は山中琉翔さん、しもかわ観光協会賞は武石桃佳さんが受賞しました。選ばれた作品をパッケージにした手延べうどんが、1月14日から「はるお製麺」「しもかわ観光協会」で限定販売されます。



■SNS・メディア利用啓発ミニ講話

講話は、12月17日(水)に1年生、18日(木)に2年生、19日(金)に3年生に実施しました。冬季休業中は在宅時間が増えるため、SNSのトラブルや長時間利用による生活習慣の乱れが心配されます。そこで講話では、生徒会が作成した「SNS 利用ルール」を改めて確認し、ICT支援員の菅沼亮輔さんによる専門的な視点から、ルールの必要性や万が一トラブルに巻き込まれた際の具体的な対処法について学びました。この機会を通して、生徒が納得してルールを守り、自分の身を守る力を高めることを目指しています。



■お知らせ

①体育館前トイレ改修について

冬季休業中、体育館前のトイレ改修工事を行います。工事期間中も、部活動などでの体育館利用には支障ありませんのでご安心ください。3学期からは、きれいで使いやすくなったトイレをご利用いただけます。

②学校評価について

11月25日(火)～28日(金)に実施した学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。現在、皆さまからいただいた結果やご意見をもとに、今後の教育活動をよりよくするための検討を進めています。集約結果や改善策については、1月にお知らせする予定です。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

1月の予定

- 1日(木) 元日、学校閉序日(～3日)
- 5日(月) 安全点検日
- 12日(月) 名寄地区個人・アンサンブルコンクール
- 15日(木) テスト前学習会、職員会議
- 16日(金) 3学期始業式、基礎力定着テスト(1、2年)
- 19日(月) 学年末テスト①(3年)、栄養教諭来校日
- 20日(火) 学年末テスト②(3年)
- 21日(水) 常任委員会
- 22日(木) スキー授業(1年)、職員会議、PTA推薦委員会
- 23日(金) スキー授業(2年)、漢字検定
- 29日(木) テスト前学習会①(1・2年)
- 30日(金) テスト前学習会②(1・2年)